

# 全国緑のこどもサミット開催

(全国緑の少年団活動発表大会)

アルピニストの野口健さんが講演

10/8(土)  
中丹文化会館

## こどもサミットの日程

開場11:20～

11:50～ オープニング あやべ太鼓子供会  
緑の少年団活動発表

14:00～ アルピニスト野口健さん特別講演  
「あきらめないこと、それが冒険だ」

みどりの奨励賞表彰、講評  
緑の少年団育成功労賞表彰



※小学生以上対象。未就学のお子様には託児ルームを用意しています(申し込み必要)。

〈問い合わせ〉府農林水産部林務課 ☎075-414-5016

同サミットは、府内で開催される第40回全国育樹祭の併催行事。森林の大切さや緑を守る活動を知ってもらうことを目的として開催されます。

### 森林を守る活動を紹介

「全国緑のこどもサミット」が10月8日、里町の中丹文化会館で開催されます。緑化活動などを行う緑の少年団の活動発表やアルピニストの野口健さんによる特別講演などが行われます。

写真提供：野口健事務所



野口健さん

全国から選ばれた6つの緑の少年団が、森や緑に関する学習体験や奉仕活動などを発表。続いて、7大陸最高峰世界最年少登頂記録(当時)を樹立した、アルピニストの野口健さんが講演します。入場は無料。予約も不要です。ぜひご来場ください。

# 白寿の祝い

「百」の字から「一」を取ると「白」の字になることから、99歳は「白寿」と呼ばれています。山崎市長は9月6日、白寿を迎える方のお宅を訪問。記念品を手渡しして長寿を祝いました。



自分で作った折り紙手芸を持つ波多野さん

入浴や出掛ける準備など自分のことは全部自分で行うという波多野さん。入れ歯が1本もなく、すべて自分の歯だそうです。趣味は折り紙手芸で、本を見ながら鶴やウサギなどを作られます。たくさんできると高齢者サロンで配られるそうで、みんなが自分の作品をもらってくれるのがうれしいと笑顔で話されました。



波多野 君恵さん  
(高槻町)



四方 ゆき野さん  
(白道路町)

毎日3食を好き嫌いなく食べるという四方さん。市長から長生きの秘訣を聞かれると、長年農業に打ち込んでいたからだと答えられました。新聞と週刊誌を読むのが好きで、特に新聞は毎日読まない物足りないそうです。一緒に暮らす息子さんの存在が心強く、皆さんのおかげで長生きができると話されました。

山崎市長と談笑する四方さん



### 市内20人にお祝い

敬老の日を前に、市は今年度白寿を迎える20人(男性2人、女性18人)に記念品を贈呈。白寿を迎えるのは、次の皆さんです(敬称略、誕生日順)。

- 能勢朝子(湊垣町)▽坪内はつ(小畑町)▽塩見なみ(鍛冶屋町)▽西喜多千恵(神宮寺町)▽塩見壽子(小畑町)▽塩見長士(物部町)▽四方ミチ(武吉町)▽岡安年子(高槻町)▽堀江ちづ枝(黒谷町)▽林節(上原町)▽西村信夫(西原町)▽野間義枝(下替地町)▽小藪はふ(中筋町)▽大槻タカ(神宮寺町)▽四方ゆき野(白道路町)▽大嶋す江(広小路四丁目)▽波多野君恵(高槻町)▽井関正(五津合町)▽永井篤子(栗町)▽高野小春(梅迫町)。



## 「元気はつらつ教室」をご利用ください

市は、毎月1回65歳以上の人を対象に元気はつらつ教室を開催しています。内容は、ためになる健康の話や軽い運動、栄養を考えた料理教室などです。健康づくりのためにご参加ください。

10月は運動教室で、内容は「効果的な筋力トレーニング」です。

- 日程** 10月26日(水)午後1時30分～3時30分
- 場所** 保健福祉センター(青野町)
- 備考** 申し込み必要。定員30人。持ち物は健康手帳、タオル、お茶。

**問い合わせ先** 保健推進課 ☎(42)0111

## 善聞 語録



79

### リオに想う

リオ五輪が終わった。日本選手の活躍と相俟って、4年後の東京開催に繋がるスポーツの祭典ということで大いに盛り上がった。大会中に気づいたことの一つが競技種目の多様さ。古代ギリシャ時代からの陸上競技や格闘技はもとより、近代オリンピック以降の様々な競技に加え、次回の東京では野球やソフトボール、空手なども行われる。その中で不易流行よろしく時代とともに見直されて淘汰されていく競技もある。

一方、百年続く企業は万に三社のみとか。また起業して株式市場に至るベンチャー企業の確率は千に三つと

もいう。この数字は、事業を興して維持成長させることの困難性、とりわけ時代の荒波を乗り越え生き残ることの難しさを物語るが、綾部発祥のゲンゼ社は今年、創業120周年を迎える。同社もこの間、新製品の開発など事業戦略の見直しや変更を行うことで時代の変化に対応し今に至っているのである。まさに「生きている」が「進化論」に言う「生き残る」は決して強いものではなく、変化に最も対応できるもの」という一節が説得力を持つ。

本市は8月1日で66歳の誕生日を迎えた。百歳には未だ道半ばだが、また民間企業の運営と単純に比較は出来ないもの、行政においては倒産も「消滅」も許されない。「築城十年落城一日」を肝に銘じ健全経営に努めたい。と同時に五輪の感動に触れ、なにかしら夢のあるまちづくりにも思いを巡らせたものである。

山崎善也(綾部市長)



## 平和への思い新たに

地球市民の集い実行委員会は8月15日、終戦の日に合わせて上野町の藤山山頂で第36回綾部市民平和祈願の集いを開催しました。市民約150人が参加し、世界連邦都市宣言と市民憲章を唱和した後、平和の鐘が鳴る中で戦没者の冥福と世界平和を願って黙とうをささげました。



## 東綾小・中学校の新校舎が完成

来年4月に市内2校目の施設一体型の小中一貫校として開校する、東綾小・中学校の新校舎が完成。1階の多目的スペースには府内産のスギを使用するなど、全体的に木の温かみを感じられる校舎になりました。小学生は2学期から新校舎を使用。今後、プールの整備などを行い、平成29年11月末に全ての事業が完了する予定です。



## 天文館で自由研究

里町の天文館で8月26日、夏休みの工作教室が開催されました。今回の工作は日本の星座が見えるプラネタリウム。参加した子どもは電線をつなぐ作業に苦戦しながらも、スイッチをどこに付けるかなど工夫を凝らし、約3時間かけて力作を完成。「早く星が見たい」とうれしそうに話しました。



## 人権を考えるセミナー始まる

市教育委員会は「人権を考えるセミナー」を8月から12月までの5回にわたり開催しています。1回目となる8月30日は、ジャーナリストの馬場周一郎さんが、「同和問題のこれまで、そしてこれから～35年間の現場取材で考えること～」と題して講演。同和問題の歴史的な経過や差別の要因を説明した上で、「差別の根拠を打ち破る」ことの必要性を訴えました。

# 防災意識を高め、災害に強いまちづくりを 総合防災訓練を実施



市は、市民の防災意識の向上と関係機関の連携強化による災害に強い安全で安心なまちづくりに向け、総合防災訓練を行いました。

訓練の様子をドローンで撮影

約850人が参加の大規模訓練

市は9月4日、災害対策基本法と地域防災計画に基づき、上杉町の市総合運動公園で「綾部市総合防災訓練」を行いました。訓練は台風による豪雨と大地震、さらに原子力事故も想定して実施。地元東八田地区自治会連合会や八田中学校、東八田小学校、東八田幼稚園をはじめ、市消防団や関係機関など計35機関、約850人が参加しました。

初実施の訓練項目も

訓練は午前8時30分開始し、情報伝達や避難所運営、救出救助訓練などを実施。また、市主催としては今回初めて避難住民への安定ヨウ素剤配布や放置車両移動、「災害時におけるマルチコプターによる情報収集に関する協定」を締結しているエフエムあやべによる「ドローン」を使った空撮映像伝送の訓練を行いました。市は今回の訓練を踏まえ、今後も市民や関係機関と連携して防災対策を進めます。

災害対策本部を設置

放射線量を測定するゲートモニターを通過

被災者を救出救助

水防訓練

重機を使用し放置車両を移動

バケツリレーによる消火訓練

破損水道管の復旧訓練

避難する睦寄町の住民

放射線防護設備の稼働

広域での原子力防災訓練も実施

市や府などは8月27日、「高浜地域における内閣府・3府県及び関西広域連合合同原子力防災訓練」を実施しました。

綾部市からは睦寄町の86人が参加。市原子力災害対策本部からの避難指示に基づき、バスで京丹波町の京都府丹波自然運動公園に避難しました。また、故屋岡町の奥上林公民館では放射線防護設備を稼働させ、全員で一っぴとつの手順を確認しながら訓練を行いました。